

評価項目	具体的数値項目	自己評価	アンケート対象と質問番号	質問内容	肯定的評価	よくあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
						40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
I 保護者との連携	学校と保護者との情報共有	学校の様子をおおよそ把握していると答える保護者が85%以上である。	A	教職員1 授業参観等の学校公開、学校からの便りや電話連絡、Webページ・ブログ等で学校や子どもたちの様子を知らせている。	100%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	学校と家庭の信頼関係づくり	子供を共に支える関係ができていてと答える保護者が85%以上である。	B	保護者1 学校からの便りや通知・ブログ等に目を通したり、授業参観に参加したりして、学校の様子をおおよそ把握している。	87%	39.0%	48.2%	12.4%	0.4%
II 確かな知性	「主体的・対話的で深い学び」の実現	授業中、自分で考えたことを伝えたり、友達との話し合いをしたりしていると答える生徒が85%以上である。	A	教職員2 保護者と連絡を密に取り、信頼される学校づくりを推進している。	100%	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%
			保護者2 学校と必要な連絡を取り合い、子供を共に支える関係ができています。	82%	30.3%	51.8%	15.9%	2.0%	
			生徒1 学校からの便りや通知を保護者へ手渡し、学校の様子を伝えるようにしている。	85%	45.3%	40.1%	13.9%	0.7%	
	ICT機器の活用	授業や家庭学習でICT機器を有効に使っていると答える生徒が85%以上である。	A	教職員3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めている。	100%	33.0%	67.0%	0.0%	0.0%
			保護者3 お子さんは、自分の考えをまとめたり、考えたことを相手に伝えたりする力が身につけている。	86%	23.5%	62.2%	12.7%	1.6%	
			生徒2 授業中、自分で考えたことを伝えたり、友達との話し合いをしたりしている。	87%	44.9%	41.8%	11.8%	1.4%	
家庭学習や読書への取り組み	家庭で学習や読書に進んで取り組んでいると答える生徒が85%以上である。	B	教職員4 ICT機器を効果的に活用した授業作りに取り組んでいる。	100%	67.0%	33.0%	0.0%	0.0%	
		保護者4 家庭でICT機器を活用するためのインターネット環境が整っている。	98%	84.9%	12.7%	0.4%	2.0%		
		生徒3 授業や家庭学習でICT機器(タブレットやPC、スマートフォンなど)を有効に使っている。	90%	50.9%	38.6%	9.1%	1.4%		
学校生活の充実	自分達で企画したり、運営したりする行事を通して、達成感や充実感を味わっていると答える生徒が90%以上である。	B	教職員5 家庭で自主的に学習や読書をする習慣が身に付けられるための手立てを工夫している。	93%	6.7%	86.7%	6.7%	0.0%	
		保護者5 お子さんは自主的に家庭学習や読書をする習慣が身に付いている。	75%	29.5%	45.8%	21.1%	3.6%		
		生徒4 家庭で学習や読書に進んで取り組んでいる。	77%	35.4%	41.1%	20.7%	2.8%		
III 豊かな人間性	感動する心や他人と協調し思いやる心の育成	福祉体験、自然体験、宿泊体験など様々な体験を通して、感動を味わったり、仲間と協調する大切さを味わっていると答える生徒が90%以上である。	A	教職員6 生徒が自ら考えて企画したり、運営したりする場を設定し、達成感や充実感を味わえるよう工夫している。	100%	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%
			保護者6 お子さんは学校行事などを通して、達成感や満足感を味わったり仲間との絆を深めたりしていると感じる。	92%	56.6%	35.5%	6.4%	1.6%	
			生徒5 学校行事等の活動を通して達成感や充実感を味わっている。	90%	62.9%	27.3%	8.4%	1.4%	
	道徳的判断力、心情、実践意欲と態度の育成	道徳の授業の中で、様々なテーマについて考えたり友達の意見を聴いたりすることで、自分の生活を振り返り、今後の自分の行動について深く考えるようにしていると答える生徒が85%以上である。	A	教職員7 福祉体験、自然体験、宿泊体験など様々な体験を通して、感動する心や他人と協調し思いやる心を養う場を設定している。	0%				
			保護者7 学校行事を通して味わった感動や仲間と協調した体験を、子供との会話を通して共有するようにしている。	0%					
			生徒6 福祉体験、自然体験、宿泊体験など様々な体験を通して、感動を味わったり、仲間と協調する大切さを味わったりしている。	0%					
健やかな体づくり	バランスのよい食事と適度な運動、睡眠時間の確保を意識し、健やかな体づくりに努めていると答える生徒が90%以上である。	A	教職員8 教材研究を深め、生徒が「考え、議論する道徳」となるように工夫している。	100%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	
		保護者8 ニュースなどを話題にして、道徳的な判断や心情、取るべき行動などについて親子で考える機会をもっている。	86%	31.5%	54.2%	13.5%	0.8%		
		生徒7 道徳の授業の中で、様々なテーマについて考えたり友達の意見を聴いたりすることで、自分の生活を振り返り、今後の自分の行動について深く考えるようにしている。	92%	52.3%	39.7%	7.0%	1.0%		
IV たくましい心身	相談体制の充実	不安や悩みごとができたとき、相談できる相手がいると答える生徒が90%以上である。	B	教職員9 食事や適切な運動、睡眠時間の確保など、正しい生活習慣について生徒が見直す機会を設けている。	100%	13.3%	86.7%	0.0%	0.0%
			保護者9 お子さんの健やかな体づくりのため、バランスのよい食事と適度な運動、睡眠時間の確保を支援している。	90%	35.9%	53.8%	10.0%	0.4%	
			生徒8 バランスのよい食事と適度な運動、睡眠時間の確保を意識し、健やかな体づくりに努めている。	84%	37.5%	46.7%	13.3%	2.5%	
	部活動を通じた健全な心身の育成(校外のクラブ活動を含む)	自分たちの自主性を生かした部活動を通して、心身を鍛えていると答える生徒が85%以上である。	C	教職員10 「いつでも どこでも だれでも」を合い言葉にした教育相談により、生徒の不安や悩みに関し親身になって応えている。	100%	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%
			保護者10 お子さんが不安や悩みを抱えたとき、相談できる親子関係を築いている。	93%	33.9%	59.4%	6.0%	0.8%	
			生徒9 不安や悩みごとができたとき、相談できる相手がいる。	79%	47.0%	31.7%	16.4%	4.9%	
危険を予測し、安全な行動をとれる生徒の育成	通学や学校生活その他の日常生活において、危険を予測し常に安全な行動を心掛けていてと答える生徒が90%以上である。	A	教職員11 部活動運営方針をふまえ、生徒の自主性を生かした部活動を行い生徒の心身の発達を促している。	100%	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	
		保護者11 お子さんが部活動や校外のクラブ活動に能動的に参加できるよう支援している。	96%	65.3%	30.3%	2.8%	1.6%		
		生徒10 部活動や校外のクラブ活動で自主的に活動し、心身を鍛えている。	85%	57.7%	27.1%	10.9%	4.2%		
V キャリア教育	変化の激しい社会を生き抜く基礎的・汎用的能力の育成	授業や学校行事、委員会活動などを通して、企画力やプレゼン力、コミュニケーションスキルなど、社会に出て必要となる能力の習得を意識していると答える生徒が85%以上である。	B	教職員12 学校の施設・設備の安全点検を実施するとともに、通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全行動に関する指導をきめ細かに行っている。	100%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
			保護者12 通学や日常生活において、危険を予測し回避できるよう、親子で話し合い確認している。	89%	39.0%	50.2%	10.4%	0.4%	
			生徒11 通学や学校生活その他の日常生活において、危険を予測し常に安全な行動を心掛けています。	88%	46.8%	41.5%	10.2%	1.4%	
	自分の将来を考え、夢や希望をもつ生徒の育成	授業や学校行事を通して、自分の将来について考えていると答える生徒が85%以上である。	A	教職員13 授業や学校行事、委員会活動、部活動などを通して、生徒に企画力やプレゼン力、コミュニケーションスキルなど汎用的能力の習得を意識させるようにしている。	100%	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%
			保護者13 社会に出て必要となる力について、親子で考える機会をもっている。	84%	32.3%	51.8%	15.5%	0.4%	
			生徒12 授業や学校行事、委員会活動などを通して、企画力やプレゼン力、コミュニケーションスキルなど、社会に出て必要となる能力の習得を意識している。	89%	39.9%	48.6%	9.8%	1.7%	
学校教育目標の具現化に向けた協働	本校の在り方や使命についてを共通理解していると答える教職員が85%以上である。	B	教職員14 授業や学校行事を通して、将来について考えさせるキャリア教育を推進している。	100%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	
		保護者14 家庭で、お子さんの将来について親子で考える機会をもつようにしている。	87%	35.9%	51.4%	12.4%	0.4%		
		生徒13 授業や学校行事を通して、自分の将来について考えている。	82%	39.5%	42.0%	15.4%	3.1%		
VII 組織運営	本校の在り方や使命の共通理解	本校の在り方や使命についてを共通理解していると答える教職員が85%以上である。	B	教職員15 教職員間のコミュニケーションを図りながら、学校教育目標の具現化に向けて協働しチームとして取り組んでいる。	80%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
			A	教職員16 理念研修等を通して、本校の在り方や使命についてを共通理解している。	93%	26.7%	66.7%	6.7%	0.0%
			A	教職員17 中高一貫教育推進委員会を軸に、教育活動や部活動において高校との連携を一層推進している。	80%	13.3%	66.7%	13.3%	6.7%
			B	教職員18 規律確保行動計画を基に、働き方改革も踏まえ規律の確保に努めている。	87%	13.3%	73.3%	13.3%	0.0%

R3は新型コロナウイルス感染症のため各行事ができなかったため評価せず。